

編集室より

「言葉は刃物なんだ」

これは、劇場版『名探偵コナン』の第15作目に当たる「沈黙の15分」にて、口論をする友人に向かって、コナンが発した言葉です。言葉は使い方を間違えると、人を傷付けることができる凶器になりうるということを改めて痛感する名言ではないでしょうか。

シンガポールで生活していると、言葉について考えることがよくあります。「せっかくシンガポールにいるのだから、英語だけでなく中国語も話せるようになりたい!」と思った私は、来星してすぐに中国語を習い始めました。日本語には無い発音に苦戦する日々ですが、ふと街中で聞こえた単語が聞き取れた時には、思わず心の中でガッツポーズをしています。

先日、旅行でベトナムとカンボジアを訪れました。トゥクトゥクで移動をする際、運転手のおじさんが日本語でコミュニケーションを取ろうとしてくれました。「アリガトウ」「カンボジア、アツイデショウ?」「ニホン、サクラ、キレイ」……。一生懸命知っている日本語で話しかけてくれる姿を見て、翻訳アプリを通して簡単に会話を済まそうと考えていた自分が恥ずかしくなりました。

日本を離れてみて、母国の文化や言葉にも目が行くようになりました。多くの人から「日本に行ってみたい」「日本語で〇〇ってなんて言うの?」と声を掛けてもらうたびに、日本に興味をもち、大切にしてくれていることが分かり、とても温かい気持ちになります。私は英語も中国語も、決して流暢に話せるわけではありません。しかし、つたない単語であっても「あなたのこと、そしてこの国のことを大切に思っているよ」という思いは伝えられるはずです。「言葉を使って、人を幸せにしたい」……。私の大きな目標です。

(編集部 田端真侑)